

11.06.26 カブ四季総会セミナー in 日経ホール

当面の相場見通し

～メルトダウン時代の
サバイバル～

kabu.com投資情報室
マーケットアナリスト 山田 勉



	レギュラー出演番組	時刻
日テレNEWS24	まーけつとNavi/Financial INDEX ニュース30+/大引け解説 デイリープラネット/エコノFocus株価解説	月曜9時 木曜15時 木曜20:10頃
TBSニュースパード	達人の株価予報	毎日8:59頃
ラジオ日経	こちカブ	水金曜8:00-8:20
ストックボイスTV	マーケットホットライン	火曜9:45頃
	定期連載	
ザイ・オンライン	株侍が斬る!	毎週月曜か火曜

当該セミナーおよび当資料は、資産運用の参考となる情報提供や、当社サービスの紹介を目的としています。銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。

ご注意事項

●証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。お取引の際は、約款・規定集、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)、お取扱商品の重要事項の説明等を良くお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を良くご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。

●投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。

ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものが

ありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書(商品毎)および目論見書補完書面(投資信託)をよくお読みください。

●前金商品(投資信託等)をご購入の場合には、お申込から約定までの間に現金買付余力がないと注文が取り消しとなる場合がございます。株式発注金額は、約定・未約定にかかわらず優先して拘束されますので、前金商品(投資信託等)の申込条件を満たさない場合もあります。投資信託等をお申込の場合には、オンライントレード規定・目論見書補完書面に記載するご注意事項やお申込画面のご注意事項を十分にご確認ください。

●信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・有価証券オプション取引・海外指数先物取引は、保証金または証拠金 以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。また、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。お取引に際しては、信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・有価証券オプション取引・海外指数先物取引の契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

●信用取引における委託保証金率等は信用取引ルールのご案内ページ(<http://kabu.com/service/rule14.asp>)をご確認ください。

●指数先物取引・指数オプション取引・海外指数先物取引においては、各取引所ごとSPANによる先物オプション取引全体の建玉から生じるリスクに応じて証拠金の額を計算するため、証拠金に対する取引額の倍率(レバレッジ)は一定ではなく明記することができません。

●くりっく365・大証FX・店頭FXは元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。取引金額がお客さまが 預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、外国為替相場や各国通貨の金利の変動等によりお客さまに損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額は、お客さまが預託されている証拠金の額を上回る可能性があります。本取引において提示する売値と買値の間には差額があります。お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みください。

手数料:くりっく365 98円(片道約定1枚あたり/税込)、大証FX 105円・7/4(月)から96.6円(片道約定1枚あたり/税込)、

店頭FX 無料 ※手数料は5%の消費税を含んでいます。1円未満は切り捨てとなります。※執行条件、取引チャネルにかかわらず上記手数料が適用となります。

証拠金(1万通貨あたり):くりっく365 東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額、大証FX 大阪証券取引所が発表する 証拠金基準額をもとに当社が定める額、店頭FX コース、通貨ペアにより25,000円~1,000,000円

カブドットコム証券株式会社

金融商品取引業者登録:関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可:関東財務局長(銀代)第8号

加入協会:日本証券業協会・金融先物取引業協会

●先物・オプション取引や外国為替証拠金取引(FX)の勧誘を目的とした商品説明やご案内等をさせていただくことがあります。

●当イベントは、情報提供を目的としており、特定の商品の推奨や売買に関する断定的判断の提供を目的とするものではありません。

※詳細および最新情報は当社ホームページにてご確認ください。

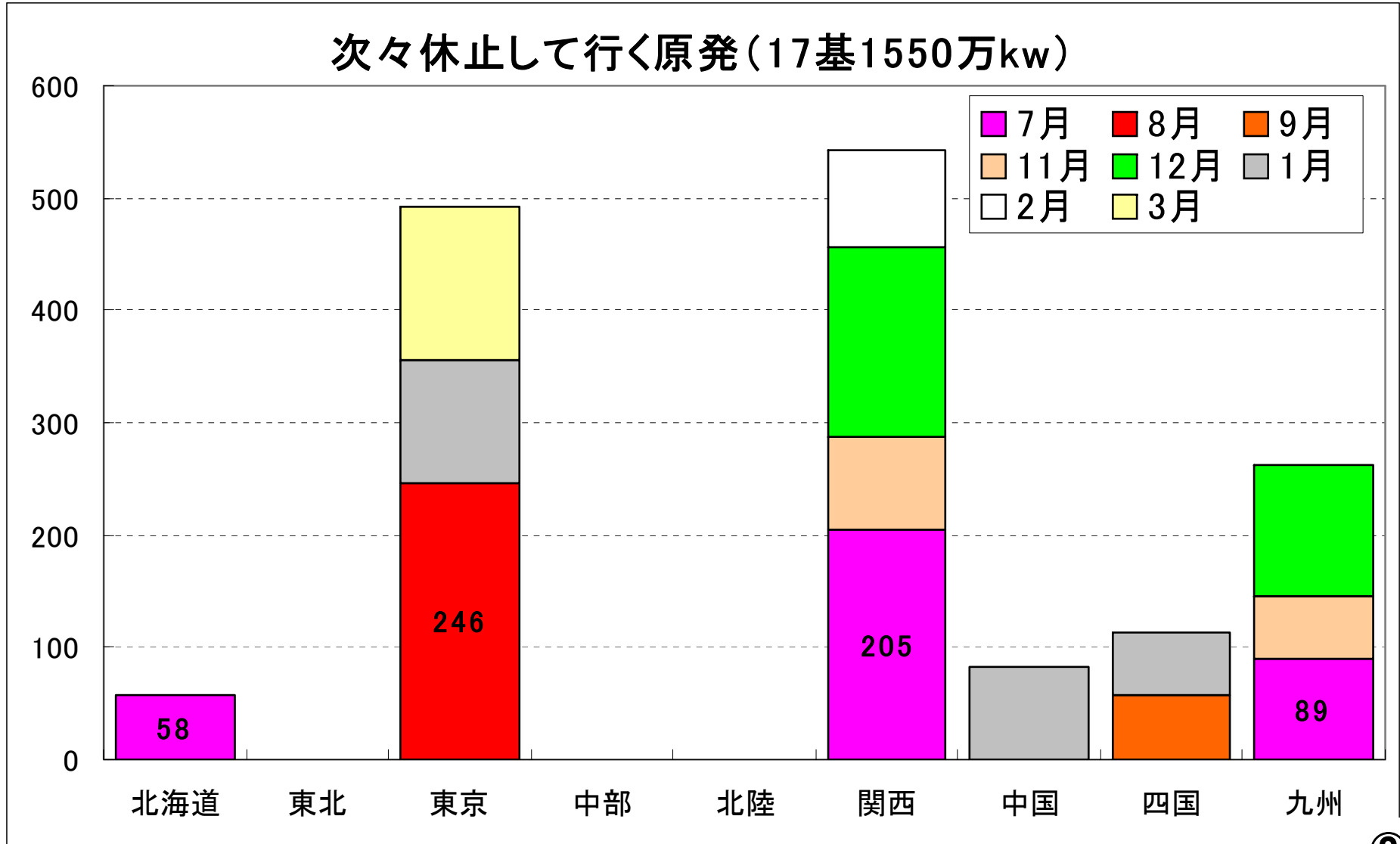
※掲載情報は2011年6月16日現在のものです。

ドン詰まりの日本

- そもそもデフレ、大震災・原発災害の痛撃
- 復旧復興へ筋道つけられず
- 原賠支援機構法案、再生エネ法案
- 全国規模の電力不足に直面？
- 復興債の償還財源は
法人税・所得税の10%増税×10年？
(消費税は社会保障財源に段階的に10%へ？)
- 外交や安保に関心薄、TPPは？

経済もメルトダウンしかねない

電力不足、どうする？

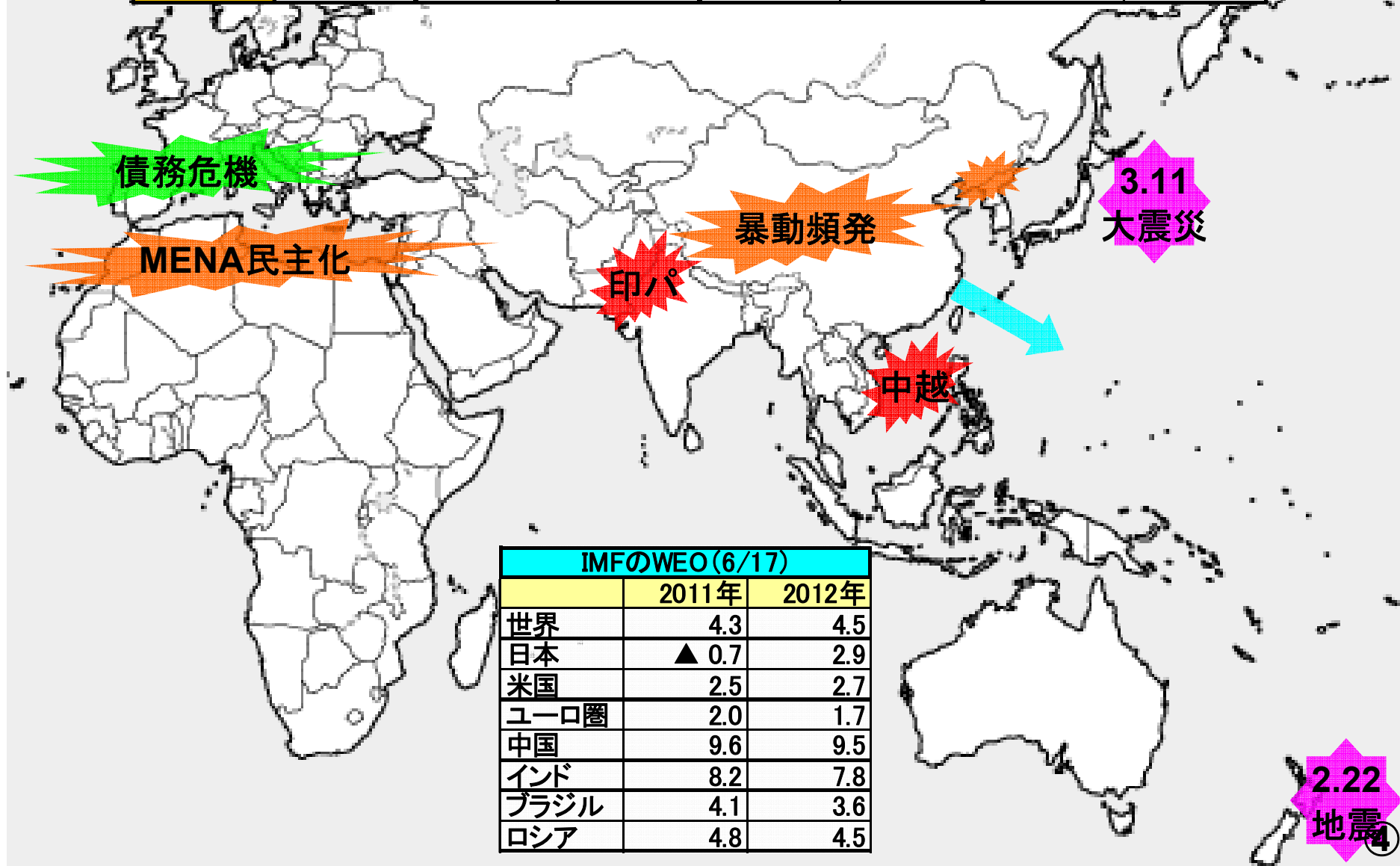


カオスの世界

米国	ポストQE2はどうか？ 連邦債務上限到達、大統領選助走期
欧州	利上げ PIIGSソブリンリスク
新興国	インフレ抑制に苦慮
世界および 国際関係	財政再建とスタグフレーション ジャスミン革命以来の中東情勢 7/1中共結党90周年 米軍のアフガン撤兵開始、印パ、中越、 北朝鮮、2012年選挙イヤー

異常に多い天変地異

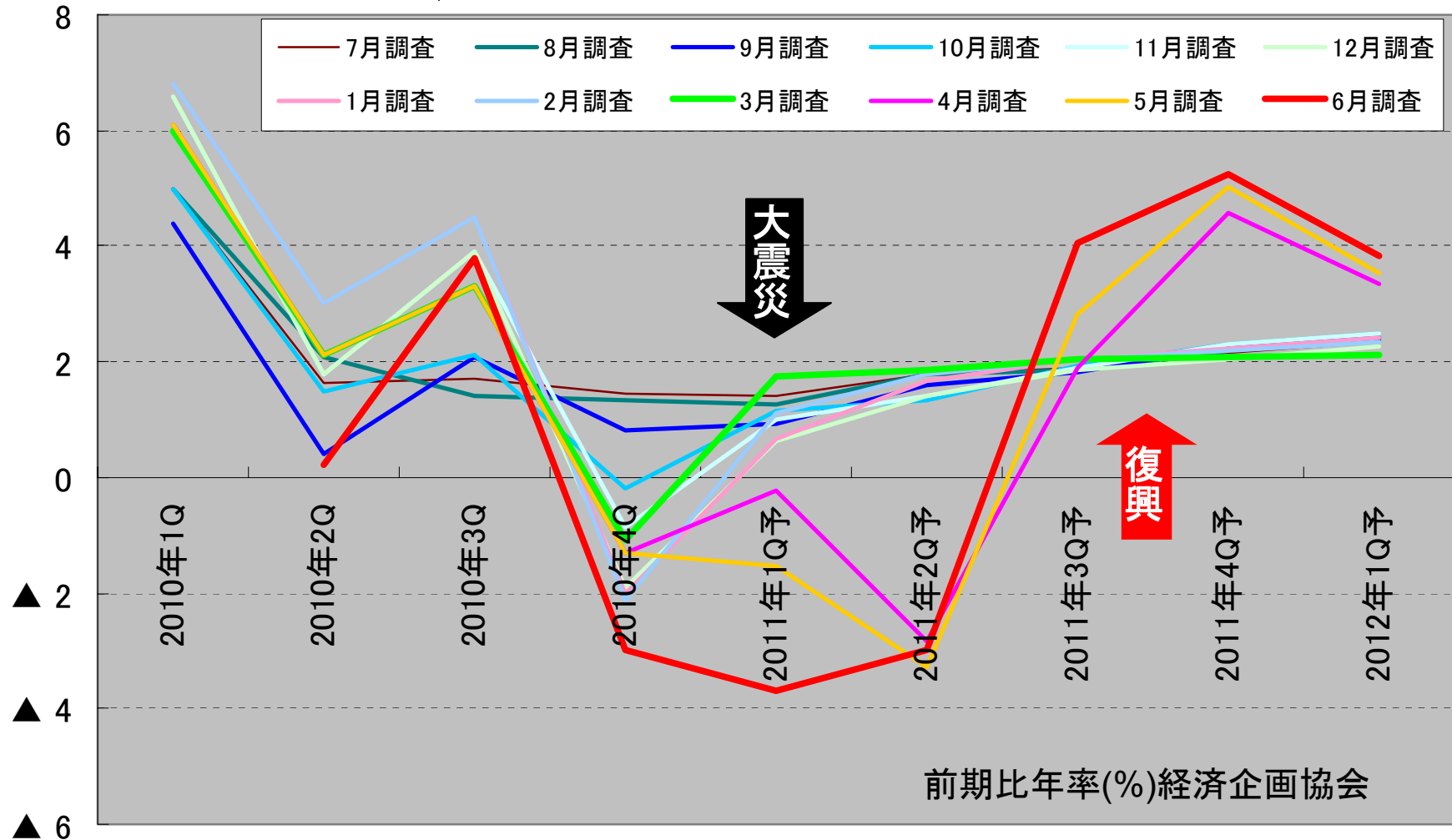
原油輸入先(2008年度)		天然ガス(2008年度)		石炭(2008年度)		ウラン(2004年度)	
サウジ	28%	インドネシア	20.5%	豪州	62.8%	豪州	33%
UAE	23%	マレーシア	19.6%	インドネシア	19.1%	カナダ	27%
イラン	12%	豪州	17.9%	中国	5.7%	ナミビア	16%
カタール	11%	ブルネイ	9.0%	カナダ	5.6%	ニジェール	13%
クウェート	8%	ナイジェリア	2.7%	ロシア	5.1%	米国	7%



IMFのWEO(6/17)		
	2011年	2012年
世界	4.3	4.5
日本	▲ 0.7	2.9
米国	2.5	2.7
ユーロ圏	2.0	1.7
中国	9.6	9.5
インド	8.2	7.8
ブラジル	4.1	3.6
ロシア	4.8	4.5

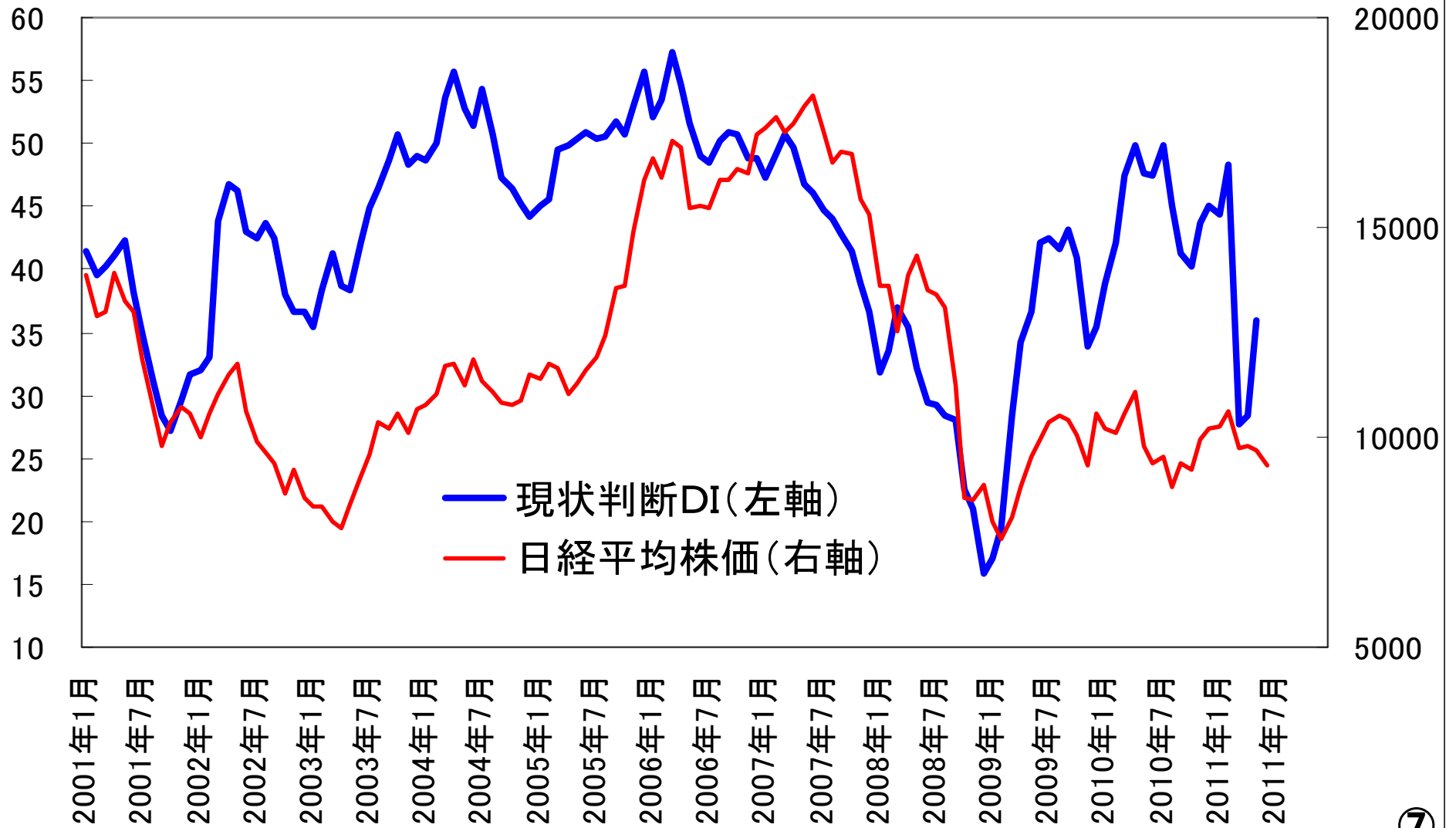
ポスト3.11の日本経済

GDP成長率予測 (ESPフォーキャスト調査)



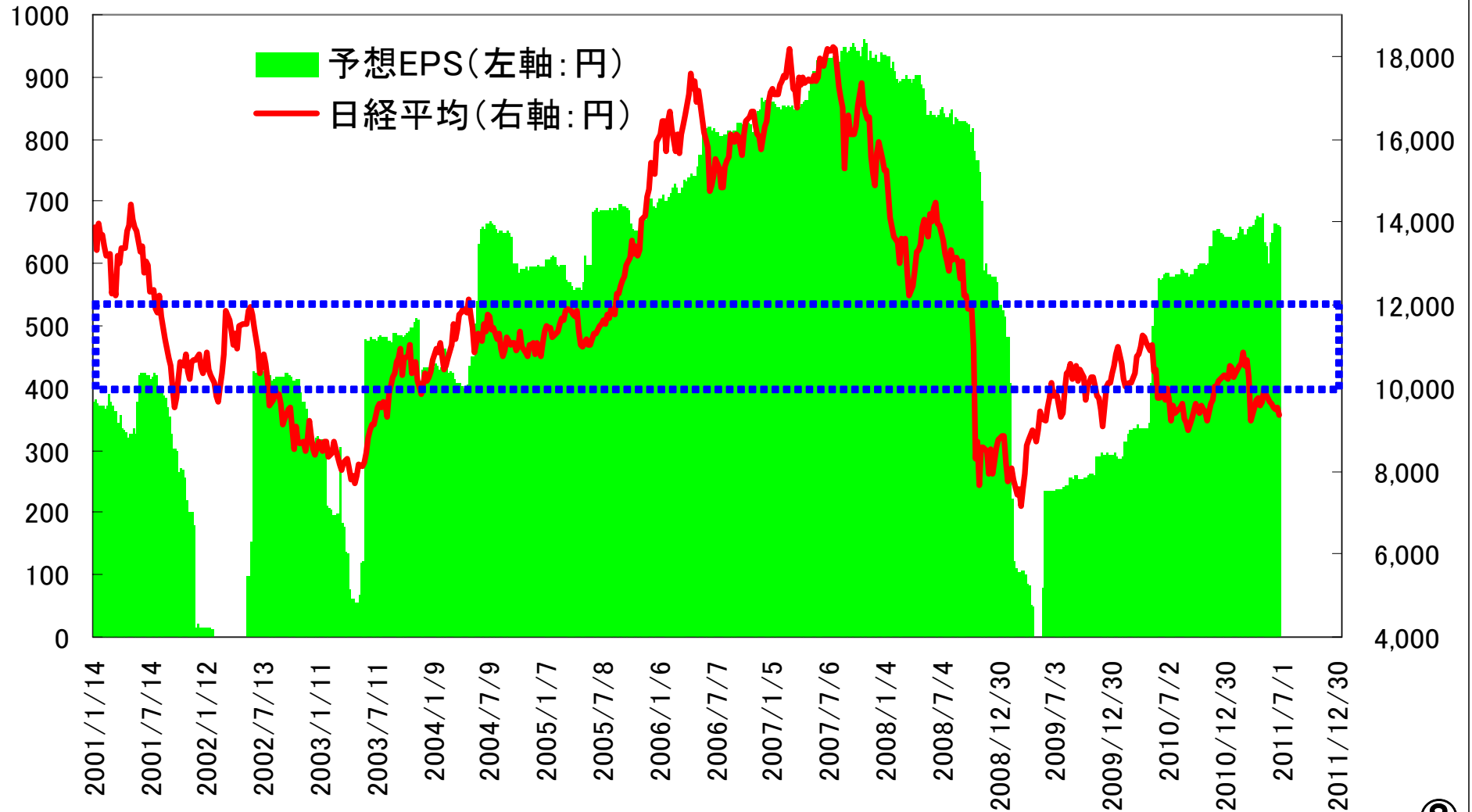
景況感は底を打ったが

景気ウォッチャー調査と日経平均株価

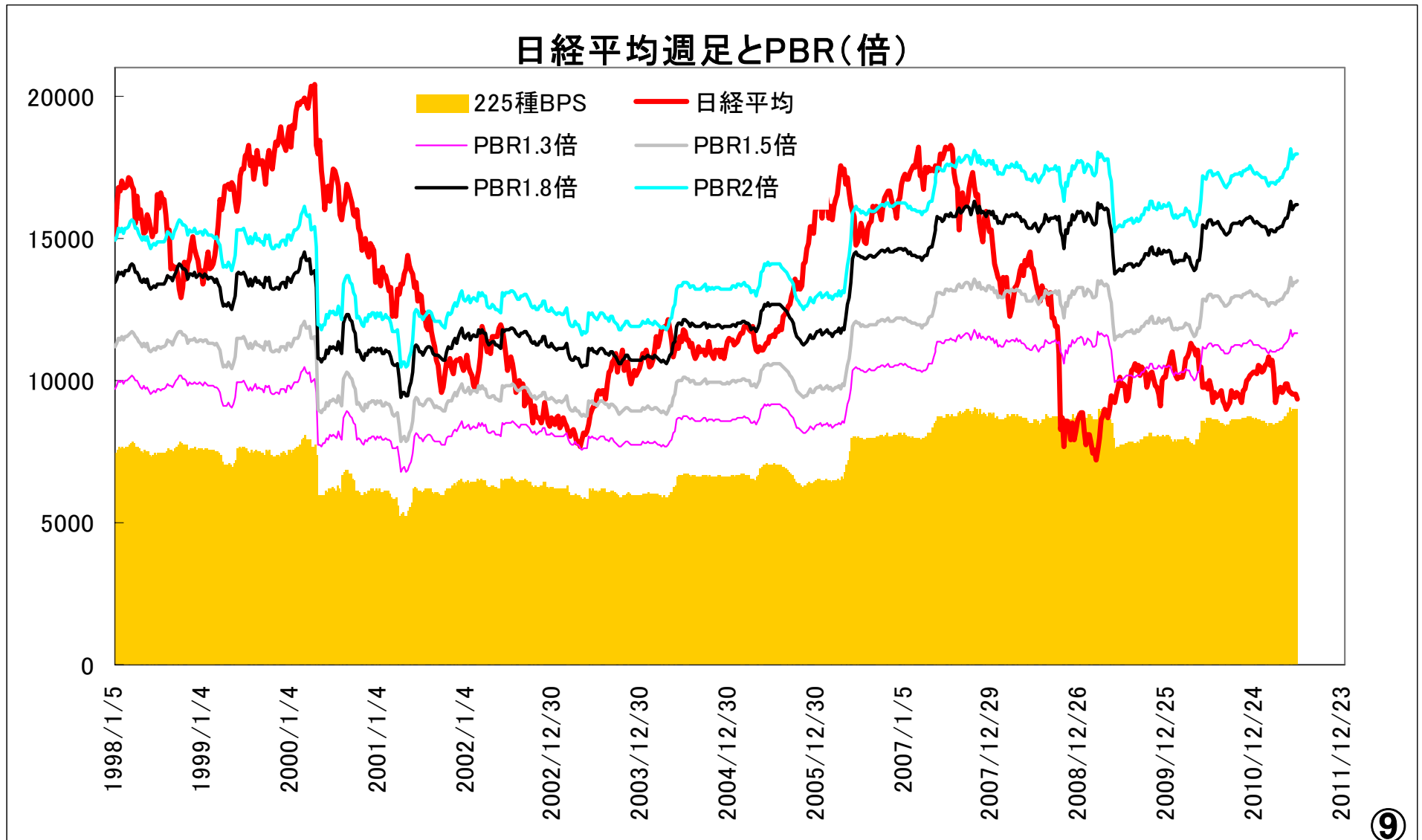


割安感

日経平均週足とEPS

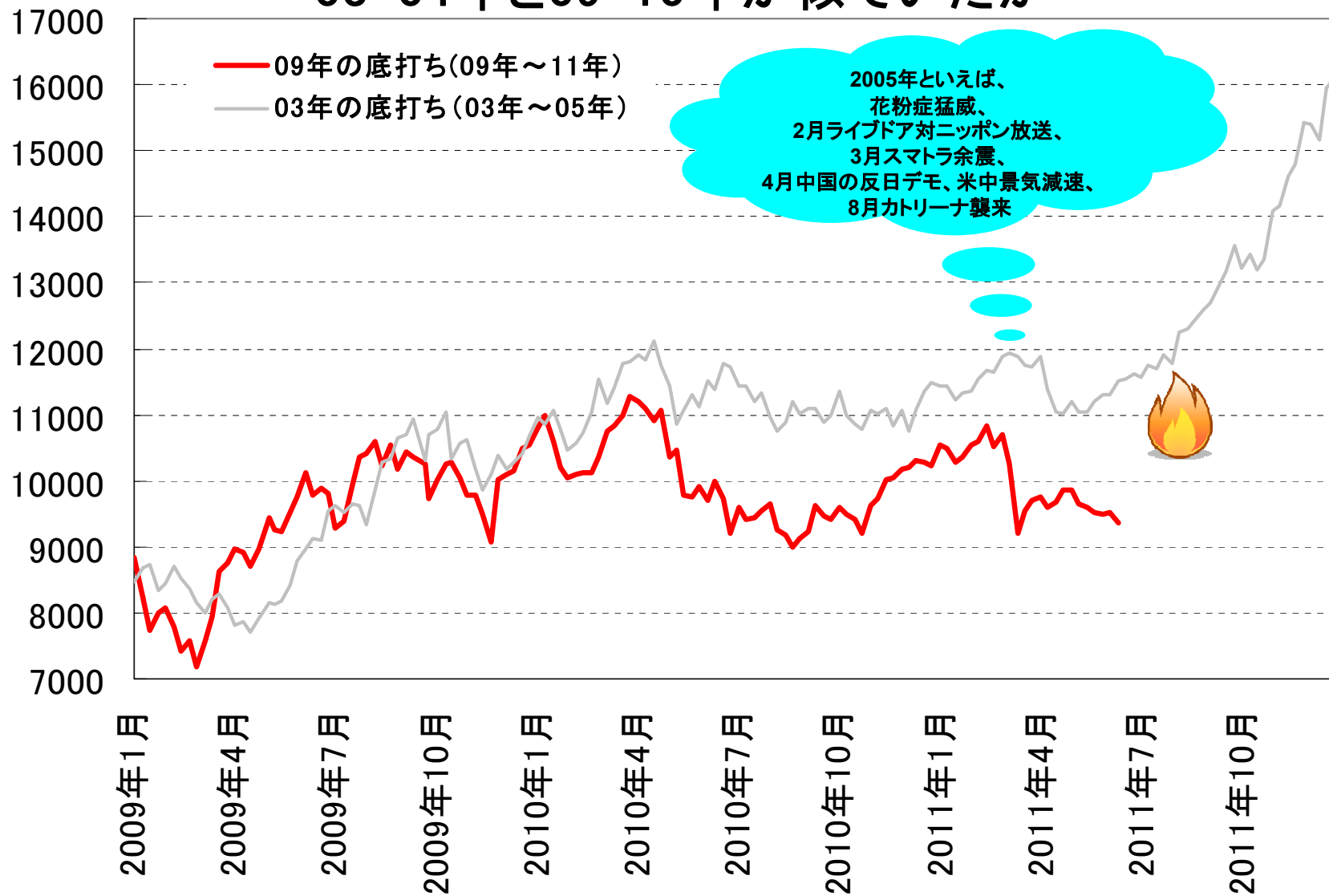


割安感



政治的なイベントが転機か

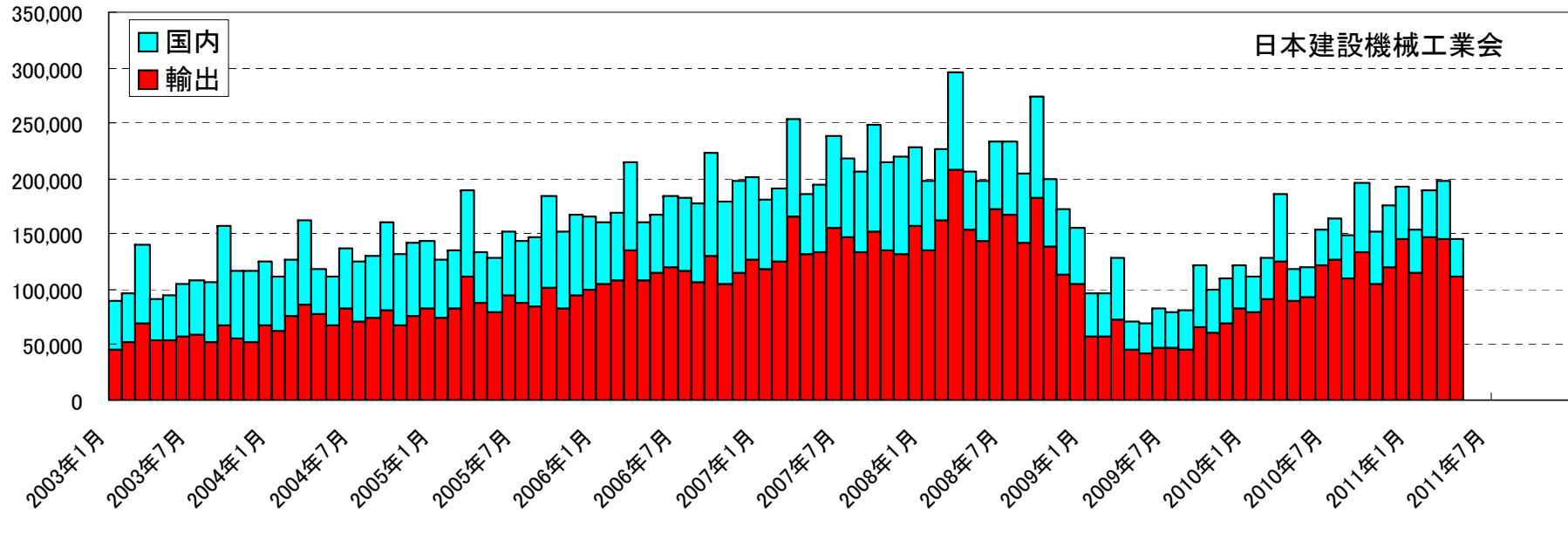
03-04年と09-10年が似ていたが



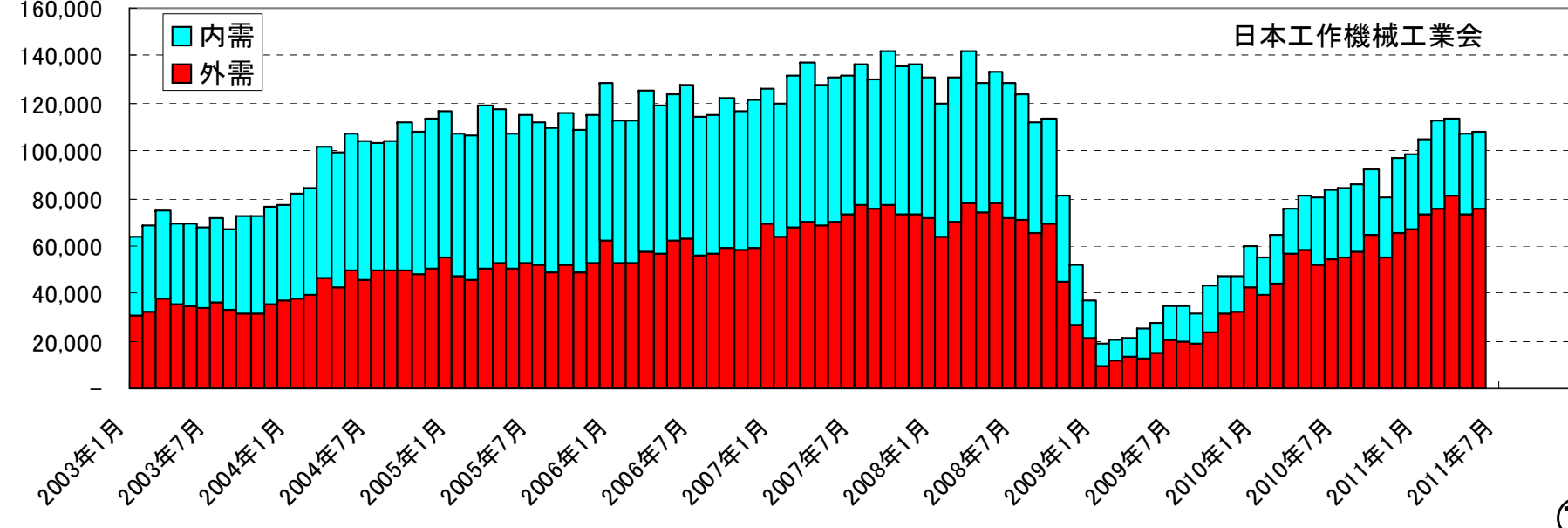
投資のアイデア

- 転機を越えるか？
- 電力不足ソリューション＝発電送電蓄電節電
「自然エネルギー」×「スマートグリッド」
- 原発事故ソリューション、復興特需
- 「節約・巣ごもり消費」
- 資源インフレ・・・謳歌する商社・非鉄・鉱業
- 外需株・・・受注凹まない機械・半導体設備投資
- スマホ/SNS/クラウド、戦線復帰する自動車・部品
- ディフェンシブグロース
- アジア人の趣味・娯楽

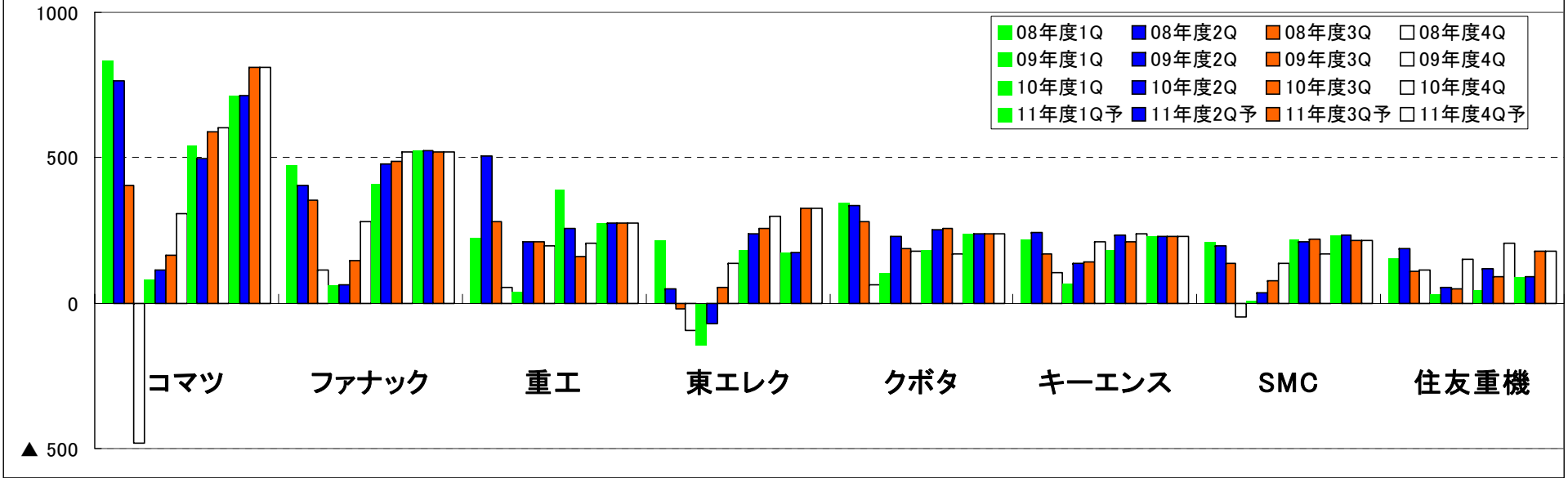
建設機械出荷金額統計(百万円)



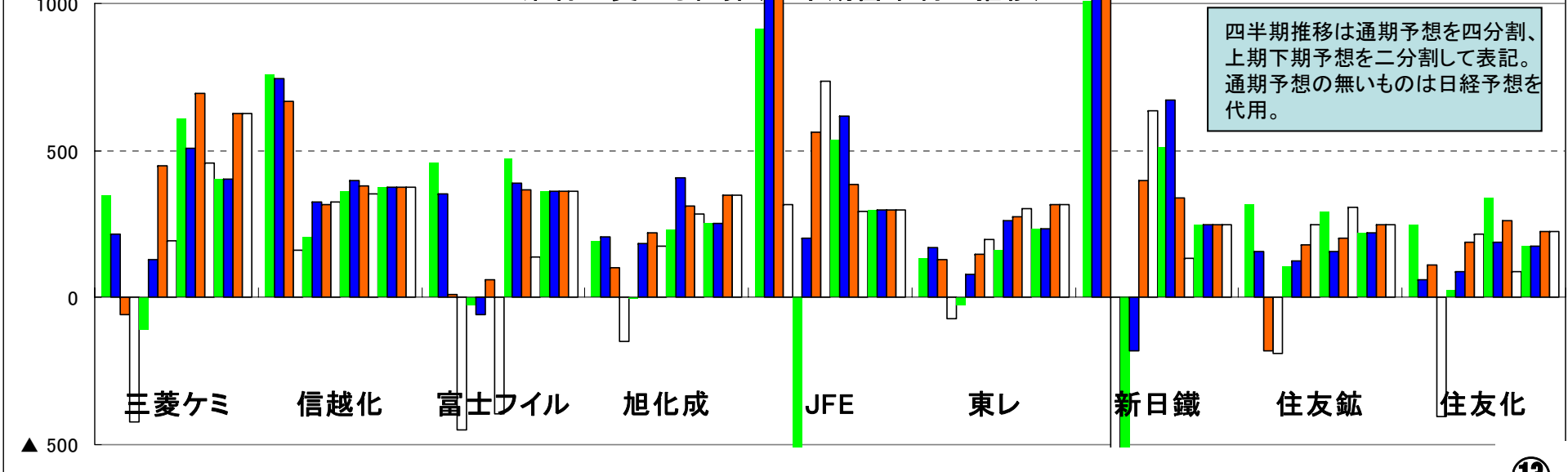
工作機械受注統計(百万円)



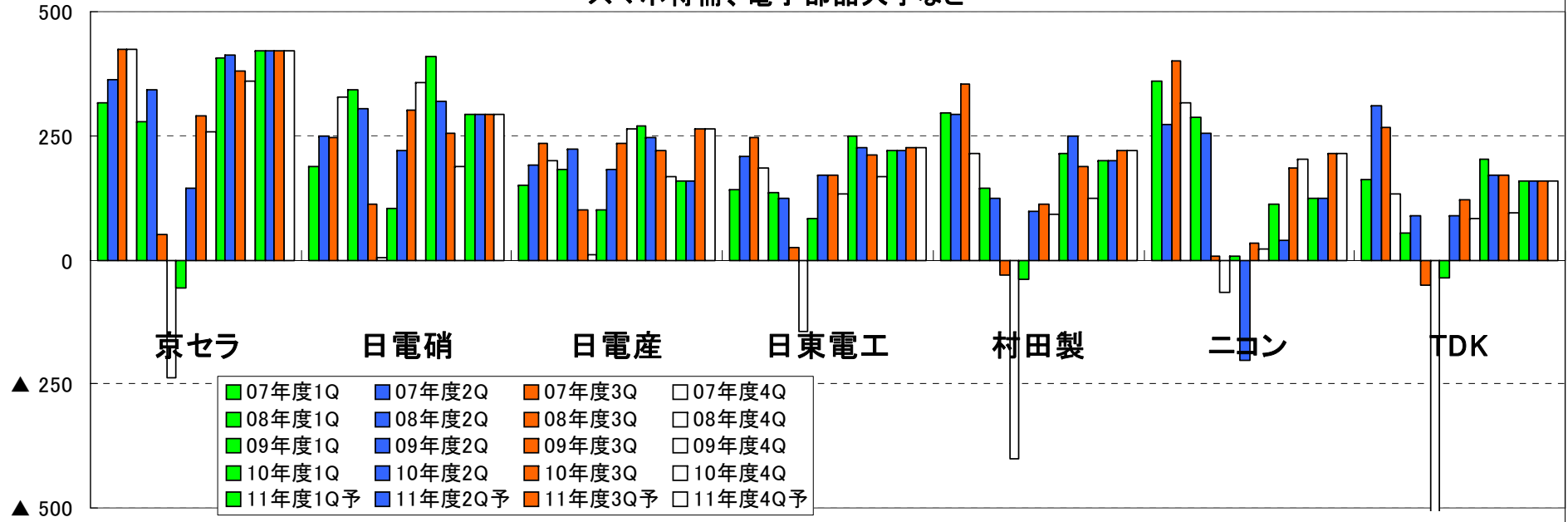
アジアの設備投資活況(四半期営業利益推移)



素材が変える世界(四半期営業利益推移)



スマホ特需、電子部品大手など



ディフェンシブ・グロース(四半期営業利益推移)

